

令和3年度 保育研究合同発表会

(福井市・仁愛女子短期大学幼児教育学科 合同発表会)

幼児教育学科 准教授 増田 翼

これまで本学幼児教育学科では、発表会などを通じて学生の学習成果を発信してきました。また2019年度からは、包括連携協定を結んでいる福井市との協働による「保育研究合同発表会」を開催し、学生の学習成果と現場保育者の研究成果を互いに発表し合い、学びを深める場づくりにも取り組んできました。

2021年度の開催については、新型コロナウイルス感染症(オミクロン株)の拡大が懸念されたこともあり、2020年度と同様にWeb上(YouTubeチャンネル)における動画公開としました。公開期間中は、「保育の質の向上に向けて共に学びあおう」をテーマに、このYouTubeチャンネル上における発表会を、視聴者自らが学びを深める場、ならびに学生と現場保育者がお互いにその学びを共有する場、として位置づけたほか、アンケートによる相互評価も行いました。また2021年度は、新たに「基調講演」という枠を設け、和洋女子大学の矢藤誠慈郎先生に講演動画「保育の質を高め、保育者が成長するための学び合い」を制作していただき、期間内であれば参加者がいつでも視聴できるように準備しました。実施内容の詳細は以下の通りです。また、実際のYouTubeチャンネル画面を次のページに掲載しておきます(図1、図2、図3)。

●公開期間 2022年1月28日(金)～2月14日(月)

●内 容

- ・福井市および仁愛女子短期大学からのメッセージ
- ・矢藤誠慈郎先生(和洋女子大学)による基調講演
- ・福井市公立園26か園および発表希望の私立園の研究内容、成果と課題
- ・研究指定園指導者5名によるコメントおよび学生、現職者へのメッセージ
- ・仁愛女子短期大学幼児教育学科2回生「保育総合ゼミナール」学習成果発表

●視聴対象者

福井市公立園職員、福井市私立園職員、仁愛女子短期大学幼児教育学科1・2回生

仁愛女子短期大学入学予定者(高校3年生:入学前教育)

その他、福井県内現場保育者、行政関係者、保育者養成校教職員など

なお、公開期間中にご回答をいただいた福井市公・私立園勤務の保育者(職員)の方々からのアンケート結果では、「学生さんならではの視点で様々なことを研究されていると感じました」、「現職の立場からでは思いもしないようなテーマがあり、とても興味深かったです」、「コロナ禍でも学生たちは熱心に勉強している事がわかりました」など、本学幼児教育学科の2回生の発表に対して様々なご意見を頂戴しました。さらに、今回の合同発表会全体に対するアンケート回答としては、「他の園での取り組みを見ることで、環境や遊びをもっと考えていきたいなど刺激を受けました」、「YouTubeで各園の発表を見るのは、自由な時間に視聴出来てとても良い方法だと思うので、今後も継続してほしい」、「もう少し配信期間が長いと、もっとたくさん見られるのにとおもいます」など、Web上での開催に対して好意的な考えが多かったです。興味深いご意見としては、「仁愛大学の研究にも興味があります。来年度は、短期大学だけでなく仁愛大学も含めた合同発表会も良いのではないかと思います」といったものもありました。来年度以降、コロナの状況次第では開催形態を一から検討しなくてはなりません。これらのご意見を踏まえながら、よりよい合同発表会を目指して努力していきたいと思えます。



図1 2021年度 保育研究合同発表会 YouTubeチャンネル



図2 YouTubeチャンネル例：福井市公立園



図3 YouTubeチャンネル例：幼児教育学科「保育総合ゼミナール」